



さきやまぶ

2023年9月1日現在

世帯数	: 5,498戸
男	: 5,764人
女	: 6,142人
計	: 11,906人

里山辺地区防災訓練

松本市で懸念される糸魚川―静岡構造線断層帯の地震は、今後30年以内に14〜30%の確率で発生し、その規模はマグニチュード7.6程度と予想されています。もし本当にこのような地震が発生した場合には、甚大な被害が発生し、多くの避難者が予想されるでしょう。

そして、その際には避難所を開設することになりますが、その円滑な運営には、自主防災組織等の地域の方々の多大なご協力が必要不可欠になってきます。



市職員も対応するわけで、

すが、実際には避難されてきた避難者の皆さんによる「自主運営」で開設することになります。

このようなことを踏まえ、9月2日(土)に山辺小学校体育館を会場に、避難所開設に関する訓練を実施しました。

避難所運営委員及び地区防災部員を中心に、昨年までの訓練の反省を生かして、特に重点的に避難所開設までの流れや行動を確認し、そのあと簡易ベッドや間仕切りのためのパーティションの組み立てを体験しました。

また、避難者役をお願いした方には、待機している間に保健師より、避難所生活におけるエコノミクス症候群を予防するための注意点を、運動を交えて説明するなど従来の訓練内容に加える工夫をして、有意義な訓練となりました。

わが町紹介

里山辺若里町 町内活動

若里町は山辺中学校の南側と西側に位置しており90世帯、町会員200人ほどの小さな町会です。平成11年12月に「地縁による団体に認可されていますが、現代の日本の縮図のように少子高齢化が進んでおります。

当町会の公民館はサークル活動や子ども会の活動に利用しています。毎週土曜

夏の一大イベント

親子で魚つかみ体験、水中生物観察

夏休み恒例の薄川で魚つかみ体験と、水中生物観察を8月8日(火)に行いました。

今年は32名の子どもが参加し、放流した150匹のニジマスを手を水しぶきを上げながら追いかけてきました。

水中生物観察会では、エクセル高等学校環境科学コースの生徒と一緒、石をひっくり返したりして水中生物を探しました。水中生物を発見すると、「見つけたーこれはなにー?」と



高校生に聞いていました。今ではあまり見られなくなり、きれいな水でしか住めないヘビトンボなど、様々な水中生物を探すことが出来ました。

水遊びをするだけでなく、環境について学ぶことで地元の薄川について考える機会となったのではないのでしょうか。

日に「いきいき百歳体操」が行われています。そこでは体操を通じて元気をもらっている人とか、人との触れ合いを楽しそうにしていることが分かります。また町会では創立を記念して「若里の日」が制定されており、各種ゲーム、勉強会、演芸等で趣向を凝らして町内のつながりを深めています。

こんな小さな町会でもご近所さんに会う機会が少なくありません。もっとご近所同士の交流を望む人、また知識や趣味の幅を広げたい人も



いると思います。それらを世代を超えて誰でも参加しやすい形の公民館活動で手助けが出来たら幸いです。

若里町公民館長 東 正美



今年も豊作! わいわいカレー

7月22日(土)にじゃがいも掘りと、じゃがバターを食べる小収穫祭を行いました。

今年も暑い中無事に、たくさん収穫が出来ました。



4年振りの開催!

里山辺地区 夏まつり

令和5年7月28日、里山辺公民館駐車場にて、里山辺地区「夏まつり」が里山辺地区福祉ひろば事業推進協議会主催で開催されました。

4年ぶりの開催ということもあり、里山辺地区の多くの皆さんが来場され、大変な賑わいとなりました。各種団体による出店が11ブースありました。いずれも盛況で、開店30分で完売するブース、多くの来場者で長い列のできるブースもありました。里山辺地区の交流の場として意味のある「夏まつり」になりました。



里山辺地区 スポーツ行事結果

◆第70回野球大会

ソフト排球	軟式野球
Aブロック 優勝…藤井	Aブロック 優勝…荒町
Bブロック 準優勝…西荒町	Bブロック 優勝…新井
Cブロック 優勝…新井	Cブロック 準優勝…下金井
準優勝…下金井	

◆第19回マレットゴルフ大会

女子の部	男子の部
優勝 小島 茂子	優勝 佐藤 昇
準優勝 加藤 佳子	準優勝 常田 良一
三位 麻原 長子	三位 武田 廣治



今後の主な行事日程

◆第68回大運動会
10月15日(日)

◆第49回文化祭
福祉ふれあいフェスティバル

11月4日(土)・5日(日)

◆第67回
卓球・ゲートボール大会
11月19日(日)

◆立志式
令和6年2月3日(土)

※その他公民館講座等については「公民館だより」でお知らせします。

「塩の道ウォーク・地蔵峠越え」 く千国古道最高地点を行く

7月20日、「塩の道ウォーク」を行いました。古道は奈良に都があつた以前から整備された官道。太古には、和田峠の黒曜石と姫川のヒスイとが交易された、歴史ある道です。

この日は天気予報では降雨。雨の覚悟で臨みましたが、天気は薄曇りで絶好な山歩き日和でした。マイクロパスが入れるギリギリの所まで、狭く急峻な林道を進み、地蔵峠の分岐点に到着。ここからは徒歩で進むのみ、到着地の長者平をひたすら目指します。幸いにして古

道は樹林帯、強い日差しもさへえざられ、気持ちの良い山行となりました。戦国時代の軍用道路の名残り、幾つもの旧跡を過ぎ、地蔵峠に到着しました。開けた場所には地蔵堂がひっそりと建ち、辺りには周囲が四メートルにもなるような、ブナの巨木が林立し、大自然の豊かさに驚かされます。峠から眼下に広がる小谷の村々の家並み、峠を吹き抜ける風に、疲れもいやされます。ここでおいでる景色と大自然のクォーラーといふ最高のぜいたくで、空腹は十分満たされました。



坂峠を目指して上ります。やがて三坂峠に到着。残念ながら日本海は望むことはできませんでした。しかし、踏破した充実感は何とも言えません。ここでブナ林の道を二気に下ります。雨で崩れた所に注意を払い、マムシの歓迎を受けながらも、終着地の長者平に到着しました。天気と大自然の恵みを受け、充実した山行でした。